



# 能登町 広報



広報のと 第5号 平成17年7月1日発行

発行：能登町 編集：広報情報推進課  
〒927-0492 石川県鳳珠郡能登町宇出津新1字197番地1

TEL: 0768-611000  
能登町URL: <http://www.town.noto.ishikawa.jp>  
Eメール: [info@town.noto.lg.jp](mailto:info@town.noto.lg.jp)

植物公園に敷き詰められた黄色い絨毯  
その花の名は「ラタナ」。フランスでの俗名「豚のサラダ」を直訳したもの。  
タンポポに似たその姿は草原一面を鮮やかな黄色に染める。

## 子育てって楽しいネ!



刀川 小優輝ちゃん (左) 3歳  
慶友くん (右) 0歳 (宇出津)

保育所から帰るなり「慶友～寂しくなかった?」と抱きしめてくれるお姉ちゃん。そんな小優輝は保育所での出来事を身振り、手振り、歌を交えて私たちに教えてくれます。その話に目を輝かせながら、聞いている長男を見ると、長女の小さいころを思い出し、こんなに早く成長するんだなぁと関心してしまいます。  
長いようで短い子育て期間、子どもたちの小さな変化に目を向けて、共に考え、悩み、そして楽しんで、私たちも一緒に成長していければなと感じるこのごろです。

父：信幸さん 母：早苗さん

いちゃけな～お子さんの写真と子育てのエピソードを募集しています。広報係までご連絡ください。

### 能登町の祭り ④

### 恋路の火祭り (7月27日)

「恋路」という地名の由来となった悲恋伝説の主人公、助三郎と鍋乃の霊を慰めるためにかがり火を焚いたのが起源とされている「恋路の火祭り」は7月27日に行われます。

祭りの夜には、大小2基のキリコが海中に入り、はや囃しに合わせて波間を練り歩きます。弁財天がまつられている弁天島では大たいまつが点火され、キリコの周辺では小たいまつが乱舞、同時に花火が打ち上げられ、壮絶な火祭りが展開されます。また、火の燃え方でその年の豊凶を占うとされています。

悲恋物語をほうふつさせるような燃え上がる炎が人々の共感呼び、毎年たくさんの観光客が訪れます。



七百年の時を越え、寄り添う助三郎と鍋乃



沖に浮かぶ赤い鳥居の弁天島、美しい白砂の浜辺。恋の物語の舞台にふさわしく、この世ではかなわなかった二人を慰めるため、幻想的なたいまつが灯り、勇壮なキリコが舞う。